

# 放課後等デイサービスにおける障がい児支援の実際 (演習と基本の理解を通して)

## ～ モニタリングを意識した記録のとり方 ～



右のQRコードから  
左のページの表示を  
お願いします。

ホップステップ R1.12.12



(一社)九州発達障がい支援協会  
代表理事 田中 聡



# 支援計画を立てる手順

## ① 障がい児支援利用計画を参照する

- ・ 相談支援専門員が作成したプランに沿った作成が必要

## ② 初回面接する

- ・ インテークシートによる利用の背景、利用の必要性等の聞き取り

## ③ 支援計画原案検討会議で協議する（モニタリング時、もしくは更新時）

- ・ 課題の分析
- ・ 支援の具体的内容と支援の方法の吟味

## ④ 文章化する

- ・ 読む人に伝わる文章記述

## ⑤ 支援の記録

- ・ 全体的な行動等の記録 + 子ども別・課題別の記録 の組み合わせ

## ⑥ アセスメントによるモニタリングと支援計画の改善

## 支援計画を立てる手順 ④

### 【支援計画の文章化】



『評価することを意識した目標設定を！』

### 個別指導計画チェックリスト【短期目標編】



ルール	×不適切な例	○適切な例
短期目標は具体的に！  ・指導目標が達成できたかどうか客観的にわかるような「動詞」を使うこと。	「～がわかる」「～が理解できる」「～を感じる」「～を知る」「～を楽しむ」「～に親しむ」など	「～する」「(～できる)」「～という」「～を選ぶ」「～と書く」など
	・1桁の数どうしの引き算が理解できる。	・1桁の数どうしの引き算の式を見て、答えが書ける。 ・実物を見せながら文章題として話すと、質問に答えられる(例:「先生はみかんを5つ買ってきました。昼に2つ食べてしまいました。残りはいくつでしょう?」)。
	・数の概念がわかる。	・指差ししながらビー玉の数を数える(1~5個まで)。
	・10までの数を理解する。	・1~10の数字を読める。 ・1~10個の物事を数えられる。 ・10個以上のものから「～個とって」と言われて個数を取って渡せる。
	・「描く」「切る」「貼る」などの遊びを楽しむ。	・花や飛行機などの線画をクレヨンで塗ることができる。 ・色紙を簡単な枠線に沿って切り取ることができる。 ・切り取った紙を画用紙の□や○で囲んだところに糊で

# 支援計画を文章化する際の留意点

## ○ 短期目標の目標を具体的にする

- この目標が達成できたかが客観的にわかるような動詞を使う  
→ 具体的にチェックできる本人の行動レベルを明確にする

## ○ 短期目標で取り組む場面を限定する

- あらゆる場面で評価が必要な目標は、全てのチェックができない

## ○ 短期目標の目標達成者は子ども

- 子どもができるようになることを記述
- ひとりで？ 具体的な支援を受けながら？ 手助けを明確に記述

## ○ 指導方法は具体的に書く

- 文章を読めば、別のスタッフが再現できるレベルで記述

# 支援計画を立てる手順 ⑤

## 【支援の記録】



『記録の生命線は、目標設定』

目標達成がみえる『質問』づくりがカギ(絵本読み聞かせ活動)

今日は、10分間くらいの絵本の読み聞かせ活動をします。

【児発管さん】

あなたは、都合によりその活動に参加できません。あとで活動がうまくいったかどうかを確認したいとき、何を質問しますか？

【支援員さん】

あなたは、あとで、児発管さんに活動がうまくいったかどうかの報告をする予定です。どんな内容を報告しますか？

目標達成がみえる『質問』づくりがカギ(絵本読み聞かせ活動)

Q：参加児は何人いましたか？

Q：声かけから集合まで何分かかりましたか？

Q：途中、逸脱した子は何人でしたか？

Q：開始1分後・5分後・9分後、絵に視線を向けていた子は  
何人でしたか？

Q：読み聞かせ後の、クイズに正解した子は何人でしたか？

Q：次も読み聞かせをしてほしいか尋ねたら何人挙手しましたか？

# 課題分析カテゴリ分類

## 【行動問題から分析するカテゴリ】

### 心理

発達心理の課題：年齢を重ね成長する過程で変化を示す自己形成の発達課題

自己肯定感

自己理解

他者理解

不安緊張

注目

防衛機制

### 社会性

社会化における課題：人との関係づくりを進める過程で求められる発達課題

協調性

規則尊重

役割責任

勤労奉仕

権利義務

### 生活

基本的な生活習慣上の課題：生活を安定させるために必要な環境・自立スキル

日常生活習慣

睡眠

食事

排泄

清潔保持

危機対処

### 特性

障がい特性に起因する課題：障がいがあるがゆえに起きているもの

こだわり

衝動性

不注意

想像性

集中力

感覚鈍麻

### 認知

認知機能の課題：感覚で受け取った情報を理解、判断処理、統合する働き

言語理解

語彙力

言語表出

記憶

思考力

判断力

### 運動

運動機能：運動発達における評価の観点

運動意欲

体力

運動神経

動作

### 心理

#### 発達心理の課題

- ・話の内容に即した感想を発表することができる（例えば登場人物の心情への寄り添いができたか？など）

### 社会性

#### 社会性における課題

- ・「読み聞かせ」の決まりを守って活動に参加することができる
- ・他の子の座る場所も意識して自分の座る場所を決めることができる

### 生活

#### 基本的な生活習慣上の課題

- ・「集まります」の声かけですぐに活動の場に集合できる
- ・「今から始めます」など活動のあいさつの役割を実行できる

### 特性

#### 障がい特性に起因する課題

- ・話の内容に興味を示しながら、10分間の読み聞かせに最後まで参加できる
- ・自分の想いやイメージと違った内容であっても、活動をじゃますることなく参加できる

### 認知

#### 認知機能の課題

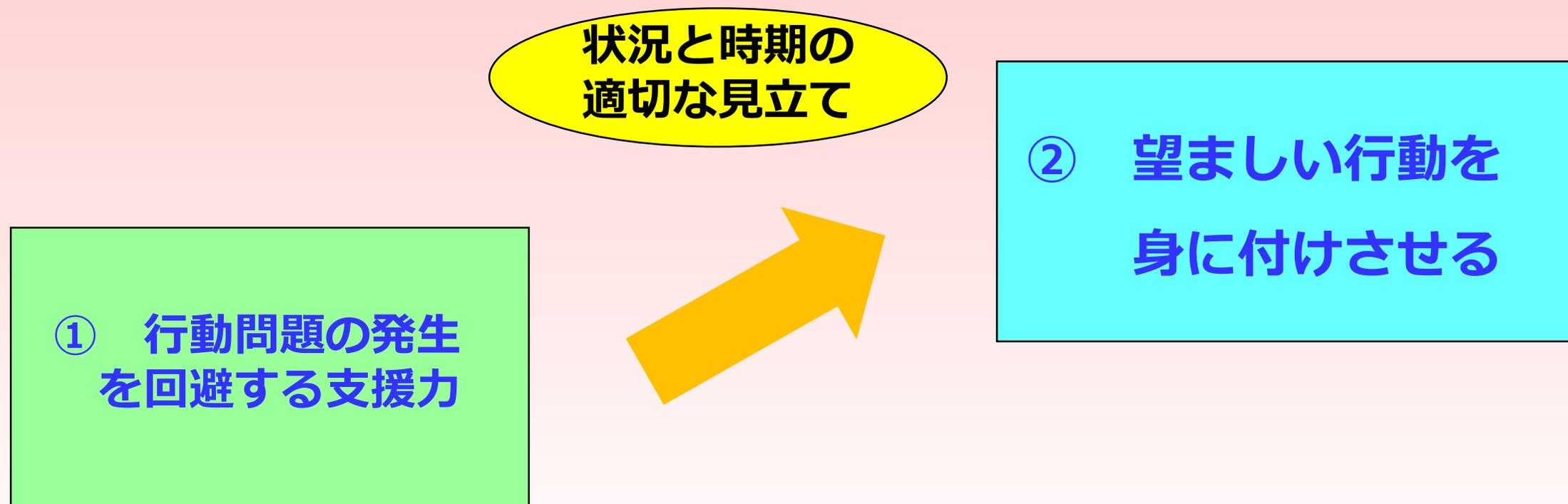
- ・話に登場した人物のクイズに答えることができる
- ・話の筋（内容）を理解したかどうかを問うクイズに正解することができる

### 運動

#### 運動機能

- ・座位の姿勢をくずすことなく最後まで話を聞くことができる

	もの	ひと	こと
支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちに人気投票をしてアンケートした上位2つの絵本を選んで読み聞かせをした。</li> <li>座るスペースに前もって座布団を並べておき、集合の声かけをした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話が終わった後に、絵本の内容についてクイズを出すことを事前にアナウンスしてから読み聞かせを始めた。</li> <li>座位保持の難しいA児の横にB支援員を配置し、座り方のモデル提示をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>普段から確認している「読み聞かせのきまり」をみんなで唱和してから活動を始めた。</li> <li>横同士で座ると私語をしたりふざけたりするC児とD児は、距離が離れるようあらかじめ座る場所の指定を行った。</li> </ul>
結果 記録	<ul style="list-style-type: none"> <li>10人の参加児のうち、8人が興味をもって最後まで集中して絵本の読み聞かせに参加した。</li> <li>座る場所で押し合うことなく、自分の座る場所を上手に決めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の人数と名前を正解した子は7名だった。</li> <li>A児は、時折座位保持が崩れたが、その都度、横にいるB支援員の姿を見て座位保持の立て直しをしていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5名ほどの子どもが「決まり」の掲示物を見なくても唱和できた。</li> <li>過去に時折読み聞かせのじゃまをするC児が、最後まで活動の邪魔をすることなく読み聞かせに参加できた。</li> </ul>



## 障がいの2つの「D」

**D i s a b i l i t y**

Learning Disability : LD

**D i s o r d e r**

Attention-deficit hyperactivity disorder : ADHD

A (状況)



B (行動)



C (結果)

きっかけ  
行動の目的  
行動の機能

外的刺激

TEACCH

もの・ひと・こと



要求達成  
心理的安定  
心理的満足

内的刺激

ABA

強化子・意味づけ

「もの」 ・・・ものを使って環境そのものをコントロールする

例：壁向きに配置した机で学習する

「ひと」 ・・・いわゆる誰が対応するか 人による対応の仕方

例：重要なルールをインプットしてほしい時、管理者に話をしてもらう

「こと①」 ・・・活動内容やイベントのコントロール

例：「今日のおやつコーナー」などスケジュールボードの提示をする

「こと②」 ・・・空間・場所のコントロール

例：学習やおやつの時間に座る席を指定する

「こと③」 ・・・時間帯や時間の長さ、順序などのコントロール

例：本人合わせた、時間入りのスケジュール表を準備する

見える

見えない

# 支援計画を立てる手順 ⑤

## 【支援の記録】



## 『記録の2つの視点』

【パターン I】  
個別目標達成に向けた  
評価のために

【パターン II】  
日常の支援の  
記録のために

### ① 変化を把握する

- 子どもの状態はさまざまな環境の影響を受けて変化する。
- 場面による行動の違い、週・月・年単位での行動の変化がある。  
⇒ 客観的な記録があることによって、職場内や他職種との共通理解が  
図りやすくなる。

### ② 原因を考える

- 必ずしも支援の計画を立てる段階で、背景にある原因を考えるのに十分な情報があるとは限らない。  
⇒ 支援計画を立てて実施した後も、情報を収集して、それを元に  
支援を再検討する必要がある。

③ 「なぜ？」を意識して記録する

**「なぜ」** そのことを記録に残そう  
と思うのかを問う  
(記録のもつ意味や必要性)

「厳選」 …記録の項目を限定する

「効率」 …記録に時間をかけ過ぎない

「活用」 …支援に活かす仕組みをつくる

【留意したいポイント】

- ・ 個別支援計画との整合性をみる
- ・ 事実と推測を区別する
- ・ 5W1Hを意識する
- ・ **支援者側が働きかけたことを記録する**
- ・ 人権に配慮した文章にする (敬体必要なし)
- ・ 開示を求められた場合を意識して書く
- ・ その子の成長に寄与する意識を常にもつ

『日々の記録』フォーム

子どもの1日全体を通しての利用を記録します。【留意したいポイント】  
・個別支援計画との整合性をみる ・事実と推測を区別する ・5W1Hを意識する  
・支援者が働きかけたことを記録する ・人権に配慮した文章にする  
(敬語必要なし) ・開示を求められた場合を意図して書く ・その子の成長に寄与する意識を常にもつ

\*必須

1 いつの記録ですか？\*  
日付  
年/月/日

2 だれが記録しますか？\*  
選択

3 誰の記録ですか？\*  
選択

4 活動内容は？  
 自立支援活動  
 創作活動  
 地域交流活動  
 余暇活動  
 その他: \_\_\_\_\_

5 内容を記述してください\*  
回答を入力

6-① 内容分類は？(分類I)  
 心理

### 『日々の記録』フォーム

- 1 いつの記録？
- 2 だれが記録？
- 3 だれの記録？
- 4 活動内容は？
- 4 内容の記述は？
- 5 分類は？(I II)
- 6 利用は？
- 7 送迎は？
- 8 延長は？
- 9 加算は？
- 10 おやつは？
- 11 弁当は？

#### 「A児」個別記録

\*必須

1 いつ? \*

日付  
年/月/日

2 だれが? \*

選択

3 発達-① 「わかった」の言動がありましたか?

- なかった
- あった

3 発達-② どんな場面でありましたか? (記述)

回答を入力

4 学習-① 学習時の集中時間は?

- 15分以上
- 10分~15分
- 5分~10分
- 5分未満

4 学習-② 集中できた時の具体的支援は? (記述)

回答を入力

5 人間関係-① 自分から他児へ話しかける場面がみられましたか?

- あった

#### 「A児」個別記録フォーム

- 1 いつの記録?
- 2 だれが記録?
- 3 発達のアセスメント
- 4 学習のアセスメント
- 5 人間関係のアセスメント
- 6 体験のアセスメント
- 7 行動問題の記録

## 支援計画を立てる手順 ⑥

【アセスメントによるモニタリングと支援計画の改善】



- ・ 観察（自然観察・仮説検証観察）
- ・ 面接（本人や保護者、関係者からの聞き取り・情報収集）
- ・ 質問紙法（アンケート）
- ・ 検査法（学力検査 知能検査 性格検査 投影法  
人間関係検査 作業検査法 各種心理検査）
- ・ ポートフォリオ（連絡帳 写真 創作作品 絵画 感想文など）



- ▶ 医療関係検査 ▶ 個別式検査 ▶ 学校用検査 ▶ 企業用検査 ▶ 書籍紹介 ▶ 特別支援関連
- ▶ 医科診療報酬点数適用心理検査 ▶ コミュニケーションツール ▶ 箱庭療法・心理療法

ご注文 見積のご依頼 資料のご請求 カタログダウンロード お問い合わせ

### 商品とサービス紹介

#### ▶ 医科診療報酬点数適用心理検査

こちらから一覧をご覧ください。

#### ▶ 医療関係検査

クリニック、病院関係(心療内科、小児科)でご利用いただいている検査をご紹介します。

- 心療内科関係の検査
- 小児科関係の検査
- リハビリ関係の検査

#### ▶ 個別式検査

医療・教育などの臨床・研究で使用する検査をご紹介します。

### HOT!



#### WAIS-IV知能検査

8月30日発売！ご注文承ります。

画像提供: 日本文化科学社



#### SRS-2対人応答性尺度

日本文化科学社より2017年12月20日発売！自閉スペクトラム症(ASD)と関連する症状を測定する検査です。

画像提供: 日本文化科学社



#### 日本版 WPPSI-III知能検査

日本文化科学社より2017年12月22日発売！

画像提供: 日本文化科学社



#### CCG-2子どものコミュニケーション・チェックリスト

日本文化科学社より2016年11月発売！コミュニケーションにおける言語的な側面を評価します。

画像提供: 日本文化科学社

### Vineland-II適応行動尺度の構成

4つの適応行動領域と不適応行動領域（オプション）と下位領域から構成されています。

コミュニケーション	受容言語／表出言語／読み書き
日常生活スキル	身辺自立／家事／地域生活
社会性	対人関係／遊びと余暇／コーピングスキル
運動スキル	粗大運動／微細運動
不適応行動	不適応行動指標／不適応行動重要事項

[総合カタログ](#) [ツールカタログ](#)

### お知らせ



LD・ADHD等関連用語集【第4版】



MEPA-R活用事例集



# 支援計画をたてる手順

⑤

## 【ポートフォリオ：子どもの作品集】



分析機能・・・件数の傾向をみたい  
ときに活用できます

## 一分析シートの使い方

- ① ピボットテーブルを挿入  
「挿入」タブ→「ピボットテーブル」
- ② 範囲の指定
- ③ 分析してみたい項目を選ぶ  
※複数の項目を重ねて分析可能
- ④ 集計表(集計値)を表示する

分類Ⅰ	分類Ⅱ	氏名	坂○想○	上○千○	帖○有○	田○隆○	馬○拓○	福○沙○	廣○仁○	総計
社会性	規則尊重		3				3	5	1	12
社会性	協調性		7	2	6	1	3	3	1	25
社会性	集計		10	2	6	1	6	8	2	37
心理	防衛機制		3			2	1	1		7
心理	集計		3			2	1	1		7
生活	危機対処		2	5	3				3	16
生活	食事		2	2				1	4	9
生活	日常生活習慣		1	9		4		2	3	24
生活	排泄		1						6	7
生活	集計		6	16	3	4	6	2	3	56
特性	こだわり		1		2				1	5
特性	衝動性		1			1		1	1	4
特性	不注意		2							2
特性	集計		4	4	2	1		2	2	11
認知	運動能力		4	2	2		1			9
認知	記憶		3			2		1	1	10
認知	言語表出		5	7	23	2	2	8	8	63
認知	言語理解		4	1	1		2	3		13
認知	判断力		1	2	1		1		1	8
認知	集計		14	15	27	4	6	14	10	103
総計			22	48	32	16	16	23	24	214

- 分析例)
- ・ 利用児童と分類の傾向
  - ・ 職員と分類の傾向
  - ・ 利用児と期間の傾向
  - ・ 全体の分類の傾向